



小沢氏の議員辞職を強く要求する

民主党の小沢一郎幹事長は今回の政治資金疑惑で不起訴処分となり、これで禊(みそぎ)が終わったかのごとく、「幹事長続投」を表明しました。

しかし、陸山会では、2007年までの4年間で約30億円もの資金が、収支報告書の記載とは異なる流れにあることが判明しています。史上最高の21億円という虚偽記入がありながら、法的追及を免れ、今後も国政を牛耳るといっているのであれば、「この国の正義は死んだ」と言わざるを得ません。

このままでは、政治資金規正法自体も、全く無意味化します。そもそも同法は、資金が無い人にも政治参加のチャンスを平等に保障する趣旨の法でもあります。不透明な資金を悪用し、それを「形式的なミス」として言い逃れが許されるならば、この国の民主主義の根本である「政治参加の自由」は滅びに至ります。

政治家には「法的責任」以外にも、「政治的責任」「道義的責任」があります。民間企業の社長なら、会計責任者を含め、秘書経験者が3人も逮捕されれば、辞任は免れません。現職衆議院議員が逮捕されたことは異常事態であり、その責任はひとえに直接の使用者であった小沢氏にあります。全てを秘書の責任に押しつけ、「トカゲの尻尾切り」で逃げ切りを図ろうとする「化石の如き」政治家は国会から永遠に去るべきです。

また、小沢氏に対して「どうぞ戦ってください」と発言した行政の最高責任者たる立場を理解していない鳩山首相、並びに、小沢氏を擁護し、一体となって検察批判、マスコミ批判を展開している民主党は、国政を付託するに足りないことをあらためて露呈しました。

幸福実現党は、検察による小沢氏の疑惑の徹底追及と立件、そして小沢氏の政界からの「潔い引退」を強く求めます。

幸福実現党 広報本部長代理 饗庭 直道 (あえば じきどう)